

事務事業評価表

○基礎情報

課名		農業水産課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	56	農業・水産業の振興と農地・海浜の保全・活用を進める	横溝 哲也	管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				2 人	9 人	1 人	0 人	0 人	12.89 人	1,349 時間	12.5 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
耕地面積	350ha	345ha	348ha	348ha	346ha
漁業の組合員数	60人	65人	60人	61人	56人
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	異業種交流の場の提供
2	経営の安定化支援
3	地産地消の推進
4	海岸侵食対策の推進
5	海岸の保全・活用の推進
6	農地の保全・活用の推進

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円)	R2予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止		
					R元決算(円)	R2決算(円)	れた成果・効果)									
1	柳島向河原地区土地利用推進事業	6	0.00	一般	33,648,000	0	農地のインフラ整備、維持管理全体の優先順位を検討した結果、当初予算より要求を見送った。	整備延長	雨水排水管 L=155.5m	0m	Z	-				
					20,815,353	0										
2	畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業	2	0.00	一般	0	0	畜産施設整備等を支援し畜産の生産力強化を図るため、補助金を交付する。令和元年度は相談実績無し。	補助金の申請相談	年1件	0件	実績なし	-				
3	農とみどりの整備事業	6	0.22	一般	6,600,000	0	老朽化の著しい、農用地内の農業施設(農業用排水路)の機能回復をするため、県補助金を利用し整備を予定していたが、12月補正(減額)の対象とし実施しなかった。	事業の進捗状況	農業用排水路整備延長 L=50m	0m	Z	変動なし				
					5,068,631	0										
4	農業用排水路整備事業	6	0.57	一般	12,221,000	21,117,000	老朽化した農業用排水路や農業用ポンプの整備や、農業用排水路の撤去や改修を当初予定していたが、維持管理のみを実施して営農環境の現状維持をはかり、整備工事は12月補正(減額)の対象とし実施しなかった。	整備状況	農業用排水路整備 L=200m	0m	A	変動なし				
					11,325,769	17,543,366										

5	畜産振興事業費	2	0.81	一般	2,756,000 2,037,383	2,671,000 1,880,611	畜産技術の向上と畜産経営の安定化を図るため、畜産農家を支援し、畜産経営環境の向上につながった。	畜産経営環境指導・支援回数	年2回	年2回	S	変動なし		
6	援農ボランティア事業	6	0.54	一般	346,000 343,494	314,000 36,554	人手が足りない農家にボランティアを派遣し、新規耕作放棄地の発生防止に役立てた。ボランティアの育成を目標とした。育成講座は新型コロナ対策で開催しなかった。登録ボランティア及び農家の統計を見直した。	幹旋成立件数	20件	27件	S	増加		
7	環境保全型農業推進事業	2	0.32	一般	3,124,000 2,108,496	1,810,000 1,810,000	環境保全型農業について、生産者との意見交換を通じ、様々な考え方や認識について深めることができた。2年度より景観植物及び景観緑肥植物植栽事業補助金を休止した。	土壌改良事業を含む環境保全型農業取組農家数	90件	79件	A	変動なし		
8	農業制度資金利子補給事業	2	0.16	一般	32,000 15,552	18,000 10,944	必要な融資資金に対し利子補給を行い、農業経営の安定化に努めた。将来的な金利上昇リスクに備えて事業継続することで、安心した営農環境を整備することができた。	利子給付の支給件数	3件	1件	A	変動なし		
9	市民農園・家庭菜園事業	6	0.68	一般	663,000 367,429	538,000 362,946	農作業を通じて農業への理解と関心を深めてもらうとともに、農地の有効利用につながった。	市民農園新規開設数	5か所	0か所	A	変動なし		
10	農産物地産地消推進事業	3	0.84	一般	20,099,000 15,547,041	17,001,000 14,164,101	消費者に対する地場農産物の魅力の発信及び農業者への支援を行う事で、地場農産物の生産、消費の推進を図る。例年通りのイベント開催はできなかったが、芋ほり体験や花卉の展示、直売に対し支援を行った。	地場産農畜水産物普及への取組件数	10件	3件	A	減少		
11	水田保全対策事業	6	0.14	一般	90,000 89,980	0 0	事業実施内容と効果について改めて精査した結果、令和2年度より事業休止とした。(遊水機能土地保全補助事業→下水道河川部 学校給食への茅ヶ崎産米利用→教育総務部)	水田保全対策実施面積	45ha	0ha	実績なし	-		
12	農作物鳥獣病害虫対策事業	2	0.48	一般	2,381,000 2,324,719	2,158,000 2,089,257	農作物への鳥獣、病害虫被害を抑制することにより農家の経営の安定化につながった。	大規模被害の発生件数	0件	0件	S	変動なし		
13	水産物供給基盤機能保全事業	2	0.63	一般	61,000,000 60,893,800	0 0	老朽化した漁業施設の機能保全工事による施設長寿命化を図り、計画に若干の遅れがあるものの、約58%の老朽化対策工事が完了しているが、令和2年度については未実施。	工事進捗率	第6期工事(81.0%)	第5期工事(57.9%)	Z	-		●
14	漁港区域内道路整備事業	5	0.10	一般	0 0	0 0	茅ヶ崎海岸グランドプランに基づいたA地区内道路の整備をし、来訪者の増加に対応するもの。令和2年度は庁内調整のみ実施した。	事業の推進	庁内調整会議	庁内調整会議	B	変動なし		
15	漁港北側駐車場・多目的広場等整備事業	5	1.16	一般	0 0	52,370,000 52,370,000	茅ヶ崎海岸グランドプランに基づき漁業関係者や海岸来訪者のための駐車場及び多目的広場の整備を実施中であり、令和3年度も引き続き整備工事を進めている。	事業の推進	庁内調整会議	整備工事中	B	増加		
16	漁業近代資金等利子補給金交付事業	2	0.03	一般	0 0	0 0	沿岸漁業近代化を推進するため、資金融資を受けた漁業者に対する利子補給をし、漁業経営の安定を図るもの。令和2年度は実績なし。	交付件数	1件	0件	実績なし	-		
17	漁港区域内堆積砂対策事業	4	0.30	一般	2,684,000 2,250,950	2,734,000 2,326,050	漁業活動に支障のある漁港施設内への飛砂侵入の防止をし、漁業活動の安定化を図ることができた。	堆積砂除去作業委託の回数	6回	16回	S	増加		
18	水産業の振興(水産物の販売促進)事業	2	0.27	一般	20,000 12,960	20,000 19,994	コロナ禍で出張販売は行えなかったが、防災協定都市である佐久市へ海産加工品をイベント等で販売してもらう等の調整を行った。	協議回数	年4回	4回	S	変動なし		
19	海岸侵食防止対策事業	4	0.30	一般	4,140,000 4,114,000	3,751,000 3,675,100	漁港西側に堆積する砂を県の養浜事業と連携し、海岸侵食の著しい中海岸へ運搬養浜し、浜幅50メートル延伸に向け、一定の効果が見られた。	堆積砂搬出量	3300m³	1000m³	A	減少		

20	海岸周辺安全対策事業	5	0.21	一般	470,000	470,000	ライフセービングクラブとの打合せにより、海岸利用についてのマナー周知とライフセービング活動の支援を行うことができた。	ライフセービングクラブとの打ち合わせ回数	4回	4回	S	変動なし		
					470,000	470,000								
21	海岸保全区域維持管理事務	5	0.21	一般	908,000	910,000	海岸保全区域内を適正に管理することで、海岸来訪者の利便性向上を図ることができた。	仮設トイレ管理日数	250日	238日	S	減少		
					891,372	858,000								
22	海産物地産地消推進事業	3	0.16	一般	0	0	安全・安心な海産物の提供と漁業振興・漁業経営安定のため地産地消イベントについては、コロナ禍で開催を見送った。	開催回数	さかなの市：年2回 わかめまつり：年1回	0回	Z	-		
					0	0								
合計					R2予算(円)	105,882,000								
					R2決算(円)	97,616,923								

3 実施計画事業（政策的事業（政策的事業のない課かいは一般管理事務等））の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
<p>農業水産課の令和2年度における第4次実施計画の事務事業数は22事業であり、全てが政策的事業である。</p> <p>これらの事業の評価結果は、「S」6事業、「A」7事業、「実績なし」8事業で、新型コロナウイルス対策の影響を受け、当初の予定通りには実施できなかった。</p> <p>農業水産課の事業は、「地産地消の推進」、「海岸の保全・活用の推進」について、関連する他部局や市民と連携して効率的な事業を推進しつつ、市民生活の維持を念頭においた委託料、工事請負費が支出され、新型コロナウイルスに対応した事業が実施できたものと考えている。</p> <p>一方、職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,349時間（前年度1,689時間）、一人あたりに換算すると月平均12.5時間（前年度15.6時間）だった。</p> <p>事業全体を通して、事務効率の向上を念頭におき不要な書類の見直しや、全課員の事務負担の平準化をはかり、人員不足の状況下で時間外勤務時間の減少や休暇の確保を達成しつつ、着実な成果を残している。</p> <p>さらに、近隣市町の担当課との情報交換を継続して行うことにより、情報収集と業務遂行に役立てた。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業（事業がない場合は－）	事務改善の内容

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業（検討事業がない場合は－）	休・廃止検討の理由（1事業も検討できない場合はその理由を記載）
13	水産物供給基盤機能保全工事	本事業は、茅ヶ崎漁港の老朽化対策工事として、平成26年に策定した機能保全計画に基づき漁港の長寿命化対策工事を行うものです。現在は予算編成方針に基づき休止していますが、途中で事業を廃止した場合、施設の倒壊、国庫補助金の返納を求められる可能性があることから、機能保全計画に基づいた、耐用残年数に基づき事業を行っていくものです。